



6 9 0 2 4 0 4 夢

本年もよろしくお祈りします

平成27年正月
島根県立三刀屋高等学校
教職員一同



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第91号

志・夢・望み高く掲げる2015年の幕開け！(記念館と総合学科棟)

注意

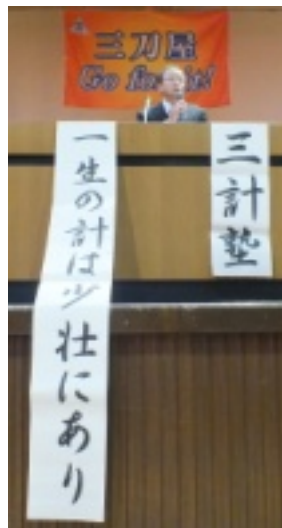


- ▼ 皆さんも今一度、保健だより等でも呼びかけた注意事項を確認し実行して下さい。
- ▼ 高熱が出た際は必ず受診し、医師の指示に従って下さい。
- ▼ 感染性胃腸炎も心配されます。こまめにうがい、手洗いをして下さい。
- ▼ マスクの着用は有効です。特に咳が出る人は、周囲にうつさないために必ず着用して下さい。
- ▼ 人込みをできるだけ避け、不要な外出は避けましょう。
- ▼ ペットボトル等での回し飲みは絶対にしないで下さい。

保護者宛て文書(HP)にも掲載でもお伝えした通り、先週の1月14日(水)から、インフルエンザにより複数のクラスで学級閉鎖になりました。例年以上の感染拡大が懸念されます。生徒の皆さんも今一度、保健だより等でも呼びかけた注意事項を確認し実行して下さい。

年頭挨拶

校長
恩田 佳雄



3学期始業式の訓話で「三計」を説く恩田校長

あけましておめでとうございませう。平成27年が始まりました。三刀屋高校は昨年、開校90周年の節目を迎え、10月4日に90周年記念式典を行いました。平成27年は百周年に向けて新しい一歩を踏み出す年と

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

夢を語ろう
三高で！
君の夢を叶える
島根全区の
三刀屋高校です

なりませう。校歌の二番には「社会に立たん、健やかに」と歌われています。総合学科の特色を生かし、キャリア教育の充実を図りながら、社会に貢献する人材の育成に努めて行きたいと考えています。さて、年の初めに必ず聞く言葉の一つに、「一年の計は元且にあり」という表現があります。皆さんは今年この目標や計画を立てましたか。今年のNHKの大河ドラマは「花燃ゆ」で、「松下村塾」を主宰した「吉田松陰」の妹の杉文(すぎ・ふみ)の話です。幕末期には、現在のようにな小・中学校や高校、大学はなく、数多くの私塾が誕生しましたが、萩の「松下村塾」や緒方洪庵が大坂で開き、福沢諭吉も学んだ「適塾」は教科書にも出てきます。そんな私塾の一つに安井息軒(やすいそっけん)という人

が江戸で開いた「三計塾」があります。三計塾の「三計」とは、「一日の計は朝にあり」「一年の計は春にあり」「一生の計は少壮の時にあり」というものでした。何事を志すにしても、まず初めに目標や計画を立てることが肝心であるという意味を込め、息軒は三計と名づけた塾を天保9年(1839年)に開き、来るべく時代に向けて人材を育成しようとしたと言われています。その後、息軒は明治9年(1876年)9月に没するまでの37年間、この三計塾で教鞭をとり、その間に二千人を超える塾生に教育を施し、数多くの逸材を育て、その中には、外務大臣として幕末に不平等条約を結んでいた15ヶ国すべてとの間で治外法権の撤廃を成し遂げた陸奥宗光(むつむねみつ)がいます。三つの「計」の一つである「一生の計は少壮の時にあり」というのは「若くて元気の良いこと。また、その年頃」という意味で、まさに高校生の頃を示す言葉です。年のはじめにあたって、自分の夢や目標を実現するために一日、一年、一生の計を立てて、勉強や部活動などに充実した高校生活を過ごしてほしいと思います。皆さんの健闘祈ります。

Go For it!



今号の記事は1月11日分までです



剣道

県高校新人戦

(12/20~21、カミアリーナ) 男子4名で出場した団体戦

バスケットボール

出雲地区高校新人戦

(12/13~14、出雲高校)

【男子】

1回戦

三刀屋(53) 51平田

準決勝

三刀屋43(74) 出雲工業

3位決定戦

三刀屋(72) 56大社

※第3位

1月に開催される県新人戦の8シード権を獲得

1回戦の平田戦では試合開始直後、スタメンのアクシデント(負傷)で相手にリードを許す苦しい展開となったが

では、島根中央高校との対戦で0-1の惜敗で初戦突破はならなかった。春の新生入生の入部も待たれる。

【男子個人】

上位進出ならず
1回戦
三刀屋0-1 島根中央

柔道

男子団体3名で初戦突破

高校選手権県予選

(1/10~11、石見武道館)

柔道部は男子3名で出場。個人戦では振わなかったが、本来は5名ずつで対戦する団体戦の松江高専(5名)との初戦では、陶山拓郎さん(2年)、定本大地さん(1年)がともに一人抜きの後、奥井

大勢さん(2年)が三人抜きを演じる逆転劇で見事初戦突破を果たした。

【男子個人】

上位進出ならず

【男子団体】

1回戦
三刀屋一人残し・松江高専

2回戦

三刀屋・五人残し開星(優勝校)

三刀屋の限界はまだ先にある... Go for it! Go for it! Go for it! Go for it!

地区大会の対平田戦、主将の森山がゴールを決める



県高校新人戦

(1/9~11、

松江市総合体育館)

【男子】

1回戦

三刀屋(82) 55平田

2回戦

三刀屋58(66) 浜田

出雲地区新人戦では1ゴール差で辛勝した平田との初戦では圧倒して勢いに乗るかと思われたが、2回戦では石見地区1位の浜田に逆転の1ゴール差で惜敗。春の大会での巻き返しに期待したい。

【女子】

1回戦

三刀屋51(7) 松江西

序盤は五角の戦いで善戦したものの、徐々に引き離されて初戦突破はならなかった。

野球

三高日誌
野球部編



新春必勝祈願!

1月4日 三刀屋天満宮にて必勝祈願。書き初めをして決意表明をしました(写真上)。皆でマネージャー手作りのぜんざいを頂きました。

1月5日 出雲大社へ初詣に行きました。帰りは学校まで30kmランニング、部員35人全員が完走しました(写真下)。



ソフトテニス

県高校インドア選手権

(12/23、鹿島総合体育館) 10月末に行われた県高校新

人戦でベスト32に入った選手が出場する標記大会に、本校からは男子の梅木大喜さん・小池祐介さんの2年生ペアが出場。新人戦ベスト16以上の選手との対戦で勝利はならなかったが、貴重な経験となった。

11月の松江地区予選を上位で通過した朗読部門の藤原香玲羅さん(2年)だったが、来年夏の全国大会出場3名の枠に入ることはできなかった。▼ビデオメッセージ部門 『俺、焼きサバ。』8位

放送

総文祭県大会

(12/17、いわみーる)

バレーボール

合同チームで大会出場めざす男子

16日から新人戦
バレーボール部の男子が今月16日(金)からの新人戦に、安来市の情報科学高校と合同チームを組んで出場することとなった。10日(土)には情報科学高校の部員が来校し、本校体育館で一緒に練習を行った。1年半ぶりの公式戦となる予選リーグ対出雲工業、対浜田との対戦に燃えている。

【松江ウインターカップ】

(12/28~29、松商体育館)

▽予選リーグAパート

三刀屋1-2 祇園北(広島)

三刀屋1-2 松江東

三刀屋2-1 石見智翠館

美術

県内高校美術部による年間最大の美術展が12月、松江市の県立美術館ギャラリーで開催されました。絵画・デザイン・彫刻・工芸・映像作品等の大作約500点が展示され、本校美術部員の入選作品27点も並びました。

り、それ以外の賞はありませんが、1・2年生の作品の中から次年度の全国高等学校総合文化祭への出品推薦作品が決定されます。今回は残念ながら、出品推薦作品(絵画5点、立体デザイン2点)には選出されませんでした。絵画3点が入選した景山大輝さん(2年)をはじめ、以下の通り力作ぞろいの三刀屋高校でした。

② この美術展での展示作品はすべて「入選」作品であ

第47回島根県高校美術展 12月12日(金)~15日(月) 島根県立美術館



「明日の天気」
2年 森脇咲子



「雲之子」
2年 森脇咲子



「ホーム」
2年 景山大輝



「社家」
2年 景山大輝



「どこまでも」
1年 金築由依



「その手を差しのべ」
1年 金築由依



「駅」
1年 小畑舞佑子



「駅の改札口」
1年 門脇有紀菜



「参道を離れて」
3年 渡谷柚香



「一畑菜師観音堂」
3年 土井七海



「一畑菜師」
3年 鈴江広太



「嫦娥」
2年 景山大輝



「虚偽の逃げ場」
1年 金築由依



「いつくしむ」
1年 黒目麻友



「カーブミラー」
1年 黒目麻友



「行方」
1年 高野寛子



「仰ぐ灯籠」
3年 金築諒平



「けったい」
1年 高野寛子



「感情」
1年 門脇有紀菜



「星通りのクジラと海色の夜空」
1年 上田千浩



「鉄瓶」
2年 森脇咲子



「湯飲み」
3年 渡部佳代



「器」
3年 伊藤天暁



「home」
3年 渡部佳代



「鉄瓶」
3年 伊藤天暁



「枝豆」
2年 荒金恵美



「メインディッシュ」
2年 森脇咲子

2014 三刀屋高校 2学期後半 拾遺物語 【1年生】

初の広島大学訪問

アカデミック・インターンシップ

11/11



↑キャンパスツアーガイドさんが懇切丁寧に案内

2学期終業式当日発行の進路だよりで既報の通り、1年生は11月中旬に広島大学を訪問しました。
キャンパスツアーガイドのお世話によるキャンパス内見学のほか、学生の方々にインタビューもさせてもらいました。キャンパス内を歩きながら、丁寧に説明してもらい、高等学校との違いはもろろんのこと、専門学校・短大・単科大学などの違いを実感できましたようです。

1年生は自身のライフプランを考察中です。30歳の時の家族をイメージし、人生における選択をどのようにしていくかシミュレーションしています。今回の授業では3名の講師の熱いメッセージも得て、計画を立てることの大切さ、夢を持つことの大切さ、工夫次第でやりたいことが実現できること、自分のライフプランを考えてみたい気持ちを高め、保護者の方への感謝の気持ちも感じてくれたようです。



ソニー生命保険株式会社が社会貢献活動として全国展開されている「ライフプランニング授業」

「ライフ・プランニング」授業

12/17

「前半」「仮想家族を設定し、その家族の将来設計を行う」↓家族構成・子どもの教育プラン・住居の計画、働き方・毎月の出費・家族の夢プランなどを考える。
【後半】「ライフプランニングの検証」↓ライフプランニング収支結果の確認、収支バランスの改善ポイントを確認、ライフプランナーによるまとめと生徒へのメッセージ。

ガイドの学生の方や本校卒業生などに大学での学びや大学生生活について何うことができ、大学に対する理解を深めることができました。こちらからのインタビュにも、丁寧に答えて頂き、広島大学での先進的な研究・学部学科の多種多様性・学生や先生方の多さ・キャンパスの広さ・施設の充実など、この訪問によっ



工学部棟前で説明を受ける生徒

て理解を深めることができました。この訪問をきっかけに、専門学校進学希望から、大学進学を目指したいと変化した生徒もいました。体験し、広く情報収集する見方や考え方の価値観、将来の見通しなどにも変化が起ころと感じました。今後も、生徒たちの将来の見通しを持つことができるよう支援していきたいと思えます。(「進路だより」から抜粋)



広いキャンパスにもビックリ



今回は計算上、10人分のワクチン代になりました

積重ねの善意が

9,117 個

ペットボトルキャップ

保健委員会

ボランティア委員会

※ペットボトルのキャップを回収、リサイクル業者に買い取ってもらい、その対価を発展途上国を支援している国際団体に寄付します。

<参考>

- ★小さなキャップでも分ければ資源リサイクル
 - ・ゴミとして焼却処分するとキャップ約430個で3,150gの二酸化炭素が発生します
- ★キャップ約430個で10円のワクチン代に
 - ・ポリオワクチンは20円分で1人の子どもの命が救えます。



昼休みの生徒昇降口前で募金を呼びかける委員

2学期末の1週間、ボランティア委員が生徒昇降口で募金を呼びかけました。



赤い羽根 共同募金

錦織良成監督映画『たたら侍』を勝手に応援するシリーズ

今シリーズでも紹介した江戸寛永期の洪水(1630年代)によって斐伊川が宍道湖に流れ込むようになると、宍道湖のオーバーフロー状態が頻発するようになった。宍道湖には斐伊川のほかに何本もの小川が注ぎ込むが、逆に宍道湖から流出する河川は、下図の通り中海につながる大橋川と日本海へ注ぐ佐陀川の二本しかない。洪水時には宍道湖の出口にあたる松江市の浸水被害は避けられない。

加茂町中心部を水没させた昭和39年の大洪水に続き、昭和47年の山陰水害では、文字通り宍道湖の水が溢れ、当時の国鉄松江駅周辺を含む旧市街地や斐川平野で長期間の浸水被害が続いた。

この未曾有の水害を契機として始まったのが今も継続する斐伊川・神戸川治水事業だ。その三位一体事業(三点セット)のうち、大橋川改修・拡幅工事は未だ着工をみないが、①斐伊川上流の尾原ダム・神戸川上流の志津見ダムの建設、②斐伊川洪水時に神戸川に分流させて宍道湖のオーバーフローを阻止する斐伊川放水路の建設の二つはすでに完成を見た。



月降雨時に初の出水(分流)を行い、各種データが記録されてインターネット上にも公開されている。ここでは専門的な細かい数値の紹介は控えるが、当然のことながら莫大な量の砂も放水路に流れ込んだ。放水路の入口部に沈砂池を設けて、神戸川下流域の環境変化(流砂堆積)を最小限に抑える仕掛けはあるものの、斐伊川上流部に完成した尾原ダムでも砂の流出が抑えることを合わせれば、今シリーズで実態を紹介した斐伊川中下流域での河床低下が一層懸念されることとなる。

斐伊川今昔物語 第7回

志津見ダム・尾原ダム、斐伊川放水路の竣工で「流砂・堆砂量コントロール」の重要性高まる

英語教育の早期化が進み、小学校5、6年生では2011年度から授業に採り入れられ、最近では低学年から学ぶ動きも全国的に進んでいるらしい。ある小学校長の弁によれば、「決して中学英語の前倒しではなく、英語を通してコミュニケーションを楽しむための授業を目指している。」とのことだ。

雲南市でも、小学3、4年生から英語に親しむ外国語活動が昨年5月から始まった。ほぼ2週間に1回の割合で今年度は15回程度が計画され、11月27日に雲南市立吉田小学校で授業公開された5、6年生の外国語活動の様子を、同小学校のホームページでぜひご覧ください。子どもたちの楽しそうな表情が印象的です。

雲南市では、吉田小学校、田井小学校、吉田中学校、三刀屋高等学校が指定小・中・高校を通じた英語教育強化事業

指定校の取り組みの様子を实地調査するために来校し、あわせて小中高校の担当者の研修を兼ね、本校でも16日に研究授業を実施した(当日の様子、次号で紹介予定)。

阪神淡路大震災から20年 1995年1月17日早朝に発生した阪神・淡路大震災(マグニチュード7.3、最大震度7)から20年が経った。在校生が生まれる前のことだ。日本にボランティア活動が真に根付くきっかけともなった大震災については、生徒の皆さんも様々な形で当時の様子を見聞きしてきたことだろうが、この大震災をあらためて振り返ることによって、災害に

市民協働の力 宝島社が昨年の暮れ、「2015年版住みたい田舎ベストランキング」を発表した。定住促進に積極的な295市町村を対象に実施した10ジャンル全95項目のアンケート結果をもとに「田舎暮らしに最適な自治体」をランキングし、3回目の今年の第1位は何と島根県の大田市。「移住者支援制度が充実」「就職・就農支援が手厚い」等が高く評価された。▼その地元の大田高校に勤務したことがある。1990年代、当時の澄田島根県知事が石見銀山遺跡の世界遺産登録をめざすことを表明した頃で、平成8年からは本格的な総合調査も始まった。高校では担当学芸員を招いて、地域や全県の地歴・公民科教員を対象とする講演会や巡検も実施した。▼が、当初は市民の間に世界遺産登録に向けた機運は、正直感じられなかった。その後、遺跡の本格調査が進んでその成果が蓄積されると、関係機関は報告会や講演会だけでなく、老若男女市民参加のワークショップを多角的に開催し、市民的盛り上がりや醸成していった。そうした市民協働の取り組みが、かけがえのない遺産を有する郷土への誇りを大きくし、登録実現に結び付いたといつて過言ではない。▼大田市の「田舎暮らしに最適な自治体」ランキング第1位は、行政の取り組みだけで可能になったものとは思えない。世界遺産登録に向けた市民協働の力が財産となつて、地域活性化の新たな段階を迎えているものと思われる。

如己愛人

宝島社が昨年の暮れ、「2015年版住みたい田舎ベストランキング」を発表した。定住促進に積極的な295市町村を対象に実施した10ジャンル全95項目のアンケート結果をもとに「田舎暮らしに最適な自治体」をランキングし、3回目の今年の第1位は何と島根県の大田市。「移住者支援制度が充実」「就職・就農支援が手厚い」等が高く評価された。▼その地元の大田高校に勤務したことがある。1990年代、当時の澄田島根県知事が石見銀山遺跡の世界遺産登録をめざすことを表明した頃で、平成8年からは本格的な総合調査も始まった。高校では担当学芸員を招いて、地域や全県の地歴・公民科教員を対象とする講演会や巡検も実施した。▼が、当初は市民の間に世界遺産登録に向けた機運は、正直感じられなかった。その後、遺跡の本格調査が進んでその成果が蓄積されると、関係機関は報告会や講演会だけでなく、老若男女市民参加のワークショップを多角的に開催し、市民的盛り上がりや醸成していった。そうした市民協働の取り組みが、かけがえのない遺産を有する郷土への誇りを大きくし、登録実現に結び付いたといつて過言ではない。▼大田市の「田舎暮らしに最適な自治体」ランキング第1位は、行政の取り組みだけで可能になったものとは思えない。世界遺産登録に向けた市民協働の力が財産となつて、地域活性化の新たな段階を迎えているものと思われる。



三高新時代への胎動

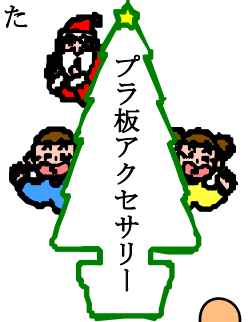
地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

シリーズ 地域とともに



第8回 たよれるお姉さん お兄さんです

冬休みの小学生と交流しました



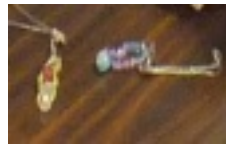
小学生の工作教室

12/25



雲南市内の小学校が2学期の終業式を迎えた12月25日の午後、加茂町のラメールを会場に小学生対象の工作教室が開催された。講師役は三刀屋

高校1年生の3名。プラバンやビーズのアクセサリ



▼延伸加工で作られるプラスチック板(プラ板)は加熱により元の姿に戻ろうとする性質がある。加熱したプラ板は面積が縮小し厚みが増す。その性質を利用して、伸ばしたものをプラ板に絵を描き、アクセサリなどに加工したものをプラ板アクセサリという。今、リサイクルブームを迎えて若者の間で人気という。

を作って楽しんだ。今回の催しは、10月の地域産業研究実習事業所インター

雲南市立西小学校 チャレンジ・イン・ウィンター

学習会の助っ人に三高生

市内小学校が冬休みに入った初日の12月26日の午前、市立西小学校の児童の勉強会に本校生徒が学習支援役で参加した。

「チャレンジ イン ウィンター」と名付けられた同小年末恒例の学習会で、春殖交流

ンシップ、3日間)をラメールで行った生徒3名が企画したもので、施設を管理運営す

チャレンジ・イン・ウィンター

12/26

センターと幡屋交流センターの2会場で実施された。このうち春殖会場には本校生徒7名が参加し、約20名の児童を相手に課題のマル付けのほか、



小学校の先生(奥)と一緒に指導する三高生

る(株)キラキラ雲南のご協力を得て実施された。質問に答えたりヒントを出したりと良きお姉さん・お兄さんぶり(良き先生役)を發揮してくれた。自分自身の優しさに気づき、子どもをかわいがる自分を再発見できるこのような機会に、今後も本校生の積極的な参加を期待したい。

【児童のかんそう】▼九九がよくわかってよかったです。プリントのこたえがよくわかりました。おねえちゃんとなかよくなりました。(2年生) ▼算数や国語のプリントの丸つけをしてもらって、まちがえがあったらやさしくおしえてくださったり、分からない場所があったらおしえてくださって、少しだけ算数が好きになりました。(5年生)

西小の参加児童のみなさん、高校のお姉さんやお兄さんも楽しかったと言っていました。また今度も呼んでくださいね。

始動!

うんなん若者チャレンジプロジェクト 2015

12月開催「うんなん若者会議(本校18名参加)」のその後

昨年12月7日(日)に開催された「うんなん若者会議」には百名近い若者が集い、雲

南市の未来の地域づくりについて意見を交わし、雲南市が誇る文化や自然、食、芸術を生かし、若者の感性でその魅力を発信するたくさんの方の提案が生まれました。

その様々な提案を実践に移す場が、春のうんなん桜まつりです。「うんなん若者チャレンジプロジェクト2015」

と題し、4月の桜まつりを舞台に、若い世代が協力して地域づくりの現場に出いていきます。三高生18名も出席した会議での協議内容をもとに、今回は5つのプロジェクトが発進します。

- ① さくらのツリーハウスプロジェクト
- ② まちかどシアタープロジェクト

- ③ 検診をトレンドにプロジェクト
 - ④ 雲南食堂プロジェクト
 - ⑤ 写真集プロジェクト
- 参加したい!やってみよう!という生徒の皆さんは、始業式で配布したチラシに付属する申込用紙を、1月末日までに進路指導部の門脇先生に提出してください。

また、桜まつりに向けての作戦会議が2月28日(土)の午前、木次町の下熊谷交流センターで開催されるそうです。



節分ももうすぐ、あつたかい気持ちで寒さを吹き飛ばし、春に向かってジャンプ!

日	曜	如月	学校行事等	部活等
1	日			
2	月		島根県公立高等学校一般選抜願書受付開始	
3	火		1年道徳教育LHR 2年人権・同和教育講演会	
4	水			
5	木		2年進研M模試 就職・公務員ガイダンス	3年出校日
6	金			サッカー
7	土		土曜補習 3年2次対策模試	
8	日			箏曲・吹奏楽
9	月		島根県公立高等学校一般選抜願書受付締切(12:00)	
10	火		S.C来校日	
11	水		建国記念の日 1・2年おろち模試	
12	木		試験発表	3年出校日
13	金		閉寮	
14	土		学校開放 3年2次対策模試	吹奏楽
15	日		閉寮	吹奏楽
16	月		6限授業	
17	火		防災教育(1・2年LHR)	
18	水			
19	木		↑ 学年末試験	
20	金			
21	土		学校開放 高P連第3回評議員会	
22	日		第3回英検2次	
23	月			
24	火		第3回PTA生活指導委員会兼 PTA人権・同和教育推進委員会	
25	水		国公立大前期日程試験	
26	木		第2回PTA評議員会	
27	金		3年出校日(人権・同和教育講演会)	
28	土		土曜補習 学校開放	

お知らせとお願い

2/8 (日) 入場無料



開場 12:30 開演 13:00
ビッグハート出雲
(JR出雲市駅南)

三刀屋高校箏曲部
演奏曲目 「飛天」(作曲:水野千鶴)

<部員からのご案内>
三刀屋高校箏曲部は1年生5名で楽しく熱心に活動しています。入学してから様々な学校行事や地域の行事に参加させていただき、少しずつ自信をつけてきました。今回演奏するのは、十七絃の幻想的かつ暖かく包み込むような音色の特徴を天の心としてとらえた曲です。初心者の方たちには難しい所もありましたが、全員で心をつなげて演奏します。入場無料です。ぜひお越しください。

第13回島根県高文連日本音楽専門部成果発表会
箏曲
6校合同の新春演奏会

2 吹奏楽

市内の**中高生** & 社会人が結成した雲南ウインドオーケストラが世界的作曲家と夢のコラボ!

2/15 (日)

雲南ウインド
オーケストラ
コンサート

開場 14:30 開演 15:00
ラメール [20周年事業第一弾] プロの演奏家も多数出演

有料ですが早期の完売が予想されます。チケット購入はお早めに

日	曜	弥生	学校行事等	部活等
1	日			バスケ中高交流事業
2	月		卒業式準備・予行 同窓会入会式 PTA会報発行	
3	火		卒業式	
4	水		ライフプラン学年発表会(1年)	
5	木			
6	金			
7	土		土曜補習 学校開放	
8	日		公立大中期日程試験	
9	月			
10	火		高校入試(生徒は休校日)	

3 土曜補習について(1, 2年生)

P.T.A主催の土曜補習を今学期も引き続き実施しますが、通常の授業日と同様に、欠席の際には保護者の皆様から学校へのご連絡をお願いします。

4 PTA関連諸会合について

年度末が近付き、2月にPTA関連の諸会合開催を予定しております。ご多用のところを恐れ入りますが、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。
※主な会合(校外会合除く)
2/24 PTA生活指導委員会兼PTA人権・同和教育推進委員会
2/26 PTA評議員会

5 3/3 (火) 卒業証書授与式

3年生の保護者・ご家族の皆様のご臨席を賜りますよう、お願い申し上げます。正式なご案内は別途保護者宛て文書で行います。

6 3年生出校日について

大学入試センター試験終了後、受験対象者向けの特別授業を実施しますが、左記のとおり週一回原則木曜日の午後を3年生全員の出校日とし、卒業前の各種講演会も計画しております。詳しくは別途ご案内した文書を「ご覧ください」。出停・公欠以外の欠席の際には、普段と同様に保護者の皆様からご連絡を頂きますようお願いいたします。

▼1/29(木) 13時5分集合
▼2/5(木) 同右
▼2/12(木) 同右
▼2/27(金) 同右

※27日は金曜日午前です。
※また、卒業式前日の3月2日(月)も出校日です。

生徒会

2学期もノーメディアタイムを呼びかけました
市内中学生の研修会でも紹介しました

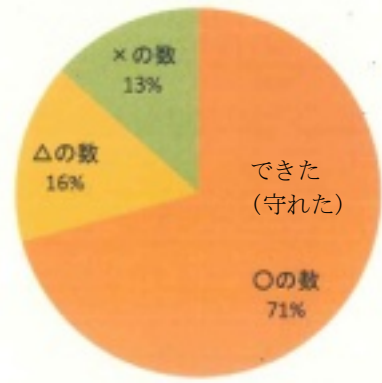
ここ数年で、本校でも生徒のスマートフォン所有率が急速に高まる中で、家庭での学習時間の低下が懸念される状況があり、平成25年度後期生徒会から定期試験中の「ノーメディアタイム」呼びかけを続けています。

2学期も後期生徒会が引き続き、「メディアを勉強部屋以外に置き、定期試験期間中の帰宅後最低2時間は携帯電話、スマートフォン等を手にはせず学習に集中すること」を申し合わせ、その実施状況をアンケート(各自が日毎にできたら○印、できなかったら×印で報告)によって把握しました。

2時間の勉強でOKという雲南市内の7中学校の2年生徒会役員41名が、高校の生徒会の活動ぶりを学ぶ研修会が12月26日、木次町のチェリ

パホールで開催されました。中学2年生の新役員に交代した時期に毎年開かれているこの研修会に、今回は三刀屋高

校生徒会役員3名(会長/上田航平さん)が招かれて前述の取り組みを紹介し、生徒会の活動の参考にしてもらいま



ノーメディアタイム
2学期末試験時の実施結果

※期末試験前の11月21(金)から試験最終日前日の12月1日(月)までの結果。中間試験時よりマル印(できた)が3ポイントアップしました。

た。なお、この研修会については12月27日付「山陰中央新報」紙上でも紹介されました。

◎執行部より
スマホの普及でメディアと接する時間が増え、勉強に集中できない。しかし、私には夢がある！希望がある！寿命がある！あきらめたらそこで試合終了ですよ…？

以上の結果は、生徒会新聞「三高NOW」12月19日発行より転載しました。

さんこう
三高90年物語

第8回 戦時下の三刀屋中学校
(例えば高窪炭鉱での勤労働員)

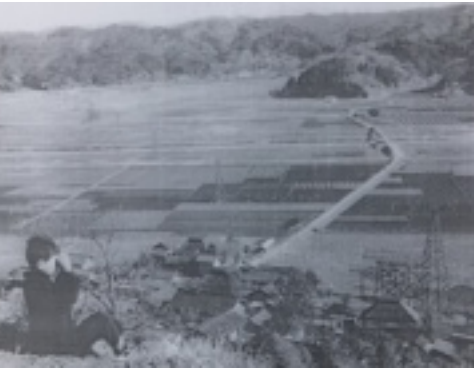


〈最後まで頑張る三年生へ送る句〉
学問のさびしさに堪へ炭をつぐ 山口誓子

1901~1994

ノーベル平和賞を受賞したマララさんは、戦禍と差別の中にあっても子どもや女性への権利を強く、勇気をもって訴え続けて世界中に感動を与えた▼今年には終戦から70周年。かつての日本にも、戦禍のために学びの場を奪われる悲しい時代があった。1931年(昭和6年)の満州事変勃発以後の戦争の歴史と重なる校史の中、特に1941年から太平洋戦争下では、本校も勉強どころではなく

労働力が不足すると、さまざまな形で生徒も教室以外での生活を余儀なくされたのである▼現在の雲南市域にあった幾つかの鉱山にも旧制三刀屋中学の生徒が駆り出されているが、その内の一つが「高窪炭鉱」である。火力に石炭が不可欠の時代にあつて、戦中から戦後しばらくも貴重な鉱山だった▼下は前号で掲載した写真と重なる地点だが、右下は石炭の搬出に係る施設の様子だ。写真を見て当時の辛い記憶が甦る方もいることだろう。



和を感じとりたい。そして受験がたく寂しくとも、夢に向かった日々の努力と苦労の先で得られる歓喜は大きく、自分を遅しくもさせてくれるに違いない。そう考えたい▼冒頭に紹介した句は、高校の国語の教科書でも時々目にする有名な

句だ。火鉢で暖をとり炭をつぐ生活は日常から遠ざかり、今ではスマホが受験勉強の寂しさを紛らす時代になった感があるが、戦禍で学びを失いながらも遅く生きた先輩の姿に恥じない現代の高校生であつて欲しい。

木次の町に出ると、三刀屋の方面からケーブルが伸びていて、黒く高い塔がそれを支えています。
(中略)撮影地点は遊山荘から吊り橋を渡り、旧参道沿いにある東屋あたりと思われます。
木次駅近くにあつた、紙会社の高い煙突も分かります。里熊橋から三刀屋の町まで人家が一軒しか無かつたのがよくわかります。石炭が落下することがあつたようでケーブルの下で道があるところはガードが付けてあります。
(峯寺遊山荘のブログより転載させていただきました)

印刷業者に出稿してから保護者の皆様のお手元に本紙が届くまでに約一週間を要します。今号は1月20日付の発行日となっておりますが、掲載記事は今日(14日)までの内容となっております。▼出稿直前になって、インフルエンザにより学級閉鎖となりました(14日から)。今は元気な人も予防のために不要な外出はせず、感染が拡大をしないための注意を払ってもらいたいと思います。保健だよりで注意事項を再点検してみてください。(編集長記)

